

「8-2病棟入院患者の待ち時間の短縮」

8-2病棟：フローラルの香

望月 益江・武田弥千代

深沢ますみ・日高 澄子

はじめに

私達が勤務する8の2病棟は50床のベッド数で、ベッドの占床率は、61年度99.2%、62年度99.7%と現在もフル回転しています。満床状態での入約は多く、入院する際予約入院として、13時の約束時間に来てみても、転室及び退院又は転棟や手術に出るまでベッドが空かない等の状況により、入院患者を待たせるケースは、ここ数年連日の様に続いています。患者からの苦情には、その都度理由を説明し、理解を得よう努めてきましたが、夕方になってもまだディールームで待ってもらっている等の状態を少しでも改善しようとするテーマを選びました。

現状把握及び原因追求

昭和63年12月15日～25日までの期間、8の2病棟へ入院していた患者50名に待ち時間についてアンケートを行った結果、待たされた人は、50名中

29名でその内訳は図1のとおり一人平均86分です。なお、2時間以上待たされた人の中には、4時間2名、5時間1名、又、1日延期が1名あった。次にスタッフより、原因として考える要因を挙げてもらい、特性要因図(図2)にまとめてみました。

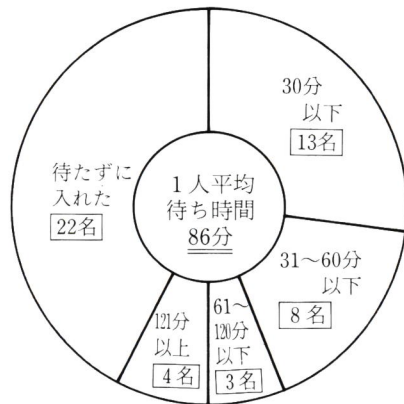


図1

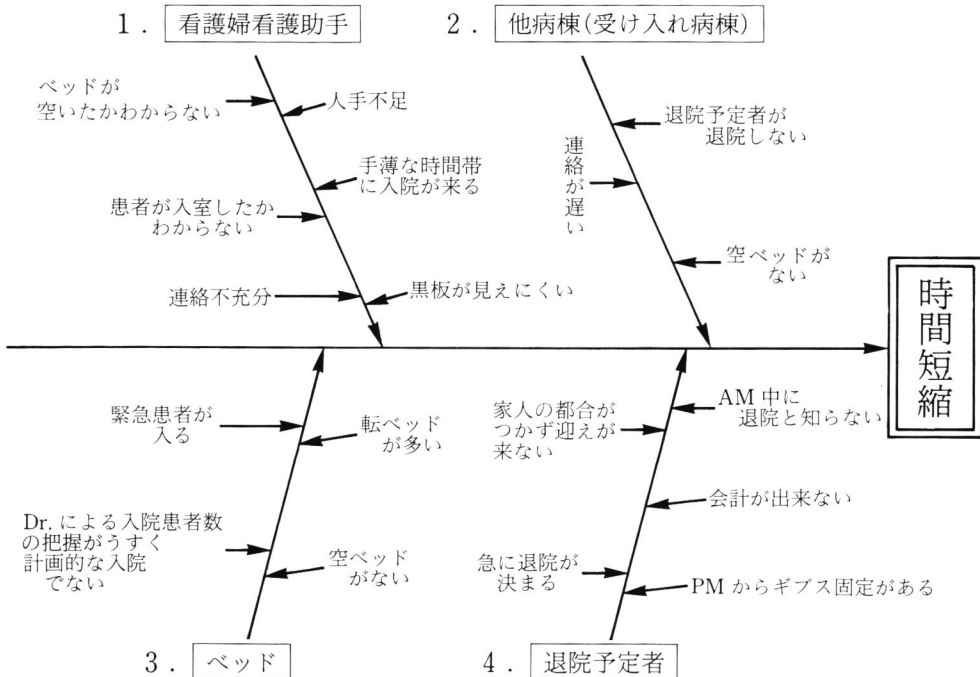


図2 特性要因図

1. 看護婦、看護助手側では、入院が午後1時ということから、手術や検査出しと重なり、又、整形という特色から、RH への搬送等、他の業務が忙しく手簿な時間帯に入院がある。従来の黒板では、小さく、文字が見えにくい。他の処置が忙しい為、看護婦が管理室にいることが少なく、退院の状況がその日の勤務者全員に伝わらない。又、いつベッドが空いたのかわからない。入院者にたずさわっていないスタッフには、その患者が入室しているのか、ディールームで待っているのかわからない。ベッドメイキングされているかどうかかわからない。
2. 他病棟（受け入れ病棟側）では、
 - ①他病棟も満床である。
 - ②転棟先の退院者が、午後退院する為ベッドが空かない。
 - ③転棟先が決まっても、本科の入院が優先されてしまい、ことわられてしまうことがある。
 - ④ベッドが空いた等の連絡が遅い。
3. ベッドに関しては、
 - ①ほとんど満床状態で空ベッドがない。
 - ②突然、緊急入院が入る。
 - ③退院予定者より、入院予定者の方が多い為転床又は、急な退院が多い。
4. 退院予定者では、
 - ①今までは患者の都合のよい時間に退院してもらうことが多く、退院は午前中にということを経験者が知らない。
 - ②当日の処方や包交等がある為、会計が出来ない。
 - ③ギブスは午後からであり、午前中に退院出来ない。
 - ④急に退院が決まる為、処方が間に合わなかったり、会計が出来ない。又、家人の都合がつかず、迎えがこれない為、退院できない。

対策・実施

1. 従来使っていた黒板では、小さく見にくく、又、必要な情報を得ることができない為、ホワイトボードを作製した。(図3)
 - ①黒板が小さく見えにくかった為、ホワイトボードに変え、大きく見易くする。
 - ②スタッフに呼びかけ、ホワイトボードを意識して見るようにする。又、備考欄を設け、必要な情報を記入できるようにする。
- 例…〇〇氏退院後に入る

- 〇〇氏転床後に入る
 〇〇氏 ope に出たあとに入る 等の
 移動内容を記入していく。
- ③患者さんが入院したことがわかるように、病棟へきたら氏名へ赤丸をする。
 - ④ベッドに確実に入れたか、確認できるように、ベッドへ入ったら、部屋番号へ赤丸をする。
 - ⑤ベッドメイキングされていれば、ベッドの欄にチェックをする。(看護助手さんに伝え、チェックしてもらう)
 - ⑥入退院患者に関する係を決め（これはその日早番で降りた処置又は、給責の人）その人が主に動き、ホワイトボードを中心に入退室状況の連絡をスタッフにする。又、その日突然に決まった転床等も記入していく。
2. 退院は午前中にという、病院側の方針を必ず説明し、午前中の退院を促した。
 3. 入院時から、病状により大部屋から個室へ、個室から大部屋へ、又は他病棟への移動がありうることを説明し、急な転室・転棟に対して理解してもらった。
 4. 退院が決定している患者さんに対して、スタッフは当日の処方や、他科受診を避けるようにした。
 5. ギブス固定後、退院となる場合は、ギブス巻きは優先して一番先にしていた。

号室	名	前	オリ	体重	BD	アナ	号室	名前	オリ	W	アナ	備考
							⑤	〇×〇男				〇〇氏 ENT後

変更前

変更後

図3

効果・確認

改善後、平成元年1月10日～2月20日までに入院した患者、150名に待ち時間のチェックを行ってみました。ホワイトボード変更により、入退院状況が、見易くなり、入院患者に関する情報が得られ、以前にあった、スタッフの無駄な動きによる時間のロスが改善されました。又、午前中退院を意識付けたことにより、(図4)のように待ち時間一人平均23.4分と短縮されています。なお、121分以上も待った2名は、3時間待っており ope に出る人のあとで

の入院であった。

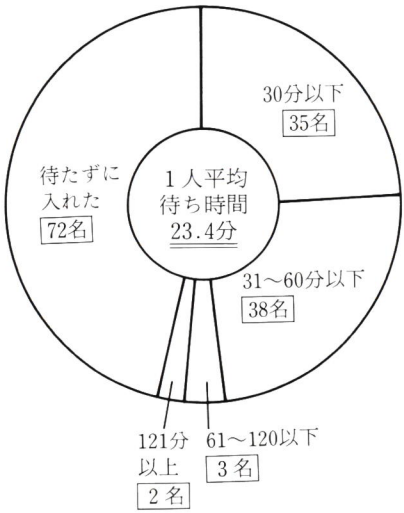


図 4

歯 止 め

歯止めとして、先程表示した対策の実行を継続しスタッフ間の連絡が一層密になるよう努力していき、今後も患者さんが、気持ち良く入退院が出来るよう対処していきたいと思います。